

自らを高め 共に生き 希望を抱いて未来を拓く

【学園経営目標】

たくましく、しなやかに、社会を生き抜く「力」をつける
～9年間で「自立」（主体性）と「自律」（社会性）の基礎を培う

目標の達成に向けて、見通しを
もって粘り強く取り組もうとする子

自己管理・調整能力（自分を高める力）

自分を大切に、他の人のよさや違い
を認め、共に生きる子

社会形成能力（人とつながる力）

【めざす子ども像】

夢と希望をもち、自分のよさをいかして社会に貢献できる子ども

知的な好奇心と向上心をもち、「わかる
（知識）」「できる（経験）」を次に
つなげようとする子

課題対応能力（自分と向き合う力）

将来の自分を想い、夢と希望をもち、その
実現に向けて、ひたむきに努力する子

希望推進力（夢や希望をつくりあげる力）

○集団生活をする上でのルールやマナーを重んじ、だれにとっても居心地の良い生活空間づくりに励む
○何事にも諦めることなく取り組み、自分を高めるための努力を継続させる
○教師や仲間の話に耳を傾け、幅広い視野の獲得を目指す
○自己の将来や進路に関心をもち、その実現のために地道な努力を惜しまない
○自らの課題を考え、その克服のために向上心をもって学習し続ける
○積極的に新しいことにチャレンジしそこで得た知識や能力を、他の場面で活用しようとする

○さまざまな事象に対し、意欲をもって、積極的に最後までやりとげようとする
○友達を大切に、自分を大切にできる、豊かな人間性をもつ
○リーダーシップを発揮し、自分の役割に責任をもつ
○将来の夢をもち、自分の生き方を考える

○知的な好奇心もった学びができる
○計画を立て目標に向かってがんばりぬく
○自分の長所短所を自覚し、自分のためにがんばれる
○クラスのため、みんなのため、リーダー性を身につけその力を生かせる
○相手の立場に立って物事を考えることができる
○クラス、学校、家庭の一員として自分の存在を理解し周りの人と協調しながら、自分にできることを見つけて行動できる

言語活動の充実

学びの作法の習得

キャリア形成支援

第3ステージ

(8・9年)

自分の適性を知り、将来の夢の実現に向け、自ら考え、決定し、行動する

第2ステージ

(5・6・7年)

基礎・基本を充実・向上させる
世界を広げ、自分の可能性をひろげる

第1ステージ

(1・2・3・4年)

学びの基礎と基本的な生活習慣・集団生活のきまりを身につける

思考力・判断力・表現力
コミュニケーション力
人間関係をむすぶ力

○考えを広げる
→文章や図・表・絵などにかかれたものや他の人が言うことを正確に理解する。
○考えを深める
→自分の考えを適切な方法で人に分かりやすく伝える。
○感性・表現を豊かにする
→他の人と話し合うなかで自分と違う考えや新たな知識に触れる。

○学び方の基礎を身につける。
→ノートの取り方、質問の仕方、整理の仕方、生活リズムづくり方など
○自律的に学ぶ方法を身につける。
→物事の調べ方、考えのまとめ方、他の人への伝え方、話し合いの仕方、自学自習の進め方など
○他者と協調しながら自分を高める。
→他の人とともに考え、話し合う中で考えを発展させたり、まとめる技法や作法など

目標の立て方や、実現のための行動の仕方など、自己の可能性を信じて自主的・自律的に行動し、生涯にわたって自分を高め成長し続けることができるよう、自立の基礎を培う。

【教職員の行動指針】

- ① 主体性（明るく・元気に・前向きに）
- ② 同僚性（学び合い・高め合い・育ち合い）
- ③ 協働性（ベクトルは一つ）

教師の共通指導指針
家庭・地域・社会